



教会だより ミルトス

日本バプテスト教会連合
八千代キリスト教会
牧師 小林政和

八千代市大和田新田 94-77
Tel:047-450-1536・Fax:047-473-3925
Eメール: gpnng725@gmail.com
URL/<https://yachiyokyokai.org>
郵便振替・00190-4-554373

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木と言われている。

今年のみ言葉 ローマ人への手紙 8章 34節

「だれが、私たちを罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしていただくのです。」

どなたでも ご自由にお入り下さい。お待ちしております。
日曜日・午前10時30分・礼拝
水曜日・午後1時30分・祈禱会

「今やるべきことはどちら」

牧師 小林 政和

エズラ記3・11—13『そして彼らは【主】を賛美し、感謝しながら「主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまでもイスラエルに」と歌い交わした。こうして、【主】の宮の礎が据えられたので、民はみな【主】を賛美して大声で叫んだ。しかし、祭司、レビ人、一族のかしらたちのうち、以前の宮を見たことのある多くの老人たちは、目の前でこの宮の基が据えられたとき、大声をあげて泣いた。一方、ほかの多くの人々は喜びにあふれて声を張り上げた。そのため、喜びの叫び声と民の泣き声をだれも区別できなかった。民が大声をあげて叫んだので、その声は遠いところまで聞こえた。これは面白い光景だと思います。過去が偉大で、今が余りにも小さくみすばらしく思う悲しみの声。一方、新しい神殿ができた過去を知らない人達の喜びの声。現在の教会の中にも、この2種類の声が入り混じっています。



ユダの統治を任されたゼルバベルは神に神殿を再建せよと命じられ、バビロン捕囚の一部の人と帰郷して、その基礎を据えました。すると「昔の神殿を見たことのある多くは大声で泣きました」。彼らはソロモン王の壮大な神殿が彷彿させ、今度の神殿はあまりにも見劣りしたからです。

ハガイも同様なことを別の言葉で言っています。『あなたがたの中で、かつての栄光に輝くこの宮を見たことがある、生き残りの者はだれか。あなたがたの目には、まるで無いに等しいのではないか。しかし今、ゼルバベルよ、強くあれ。仕事に取りかかれ。わたしがあなたがたとともにいるからだ』(ハガイ2・3-4)と。ゼルバベルは、神の霊の臨在、その励ましに勇気もらいました。神は「この新しい神殿の栄光は昔の神殿にまさる」と言われました。神は現実の神殿を肯定されたのです。過去の大きな栄光よりも今の小さな栄光が良い、今始めることが大切だと言われます。

2月3日(火) 野崎宅家庭集会

野崎姉が八千代市内に移転してきてからは、教会に近くなり、毎月行っています。讃美歌を歌い、小林牧師のメッセージを聞き、お祈りをしました。実りある豊かな時を過ごすことが出来ました。感謝です。



野崎宅の花(1月6日撮影、下橋)



2月1日(日) 日曜礼拝・聖餐式

日曜礼拝の後半に聖餐式を行いました。小林牧師の導きにより、安藤恭子姉のピアノ演奏に合わせて、小林義宣兄が葡萄酒を、下橋祐次兄がパンを配りました。教会員の皆様のより信仰心が深まる事を祈りました。

2月11日(水) 祈禱会

毎週水曜日13時30分から祈禱会が行われています。この日は普段は仕事の関係で、欠席がちの教会員の参加を得て、いつも以上に充実したお祈りが出来ました。4月5日のイースター祝会では、この祈禱会のメンバーが歌う曲の練習もしました。

2月24日(火)～26日(木) 小田原天成園で「2025年決算総会」と「教職セミナー2026」とが行われました。

- 1) 2025年決算報告が理事長始め、各担当理事から報告があり出席者多数で承認されました。
- 2) 今年の教職セミナーは山崎ランサム和彦師(日本聖契キリスト団所属、聖契神学校教師・教務主任)が講師となり、「ルカ文書と神の民のアイデンティティ」について講演されました。ルカ文書とは、ルカが書いた「ルカ福音書」と「使徒の働き」の2文書を言い、神の民とは旧約で、イスラエルを指していたが、新約ではキリストを信じる者たちが神の民としてその信仰を受け継いでいること等を説明していただき、聞く者一同大いに励まされました。(小林)



メンバー紹介

「家庭菜園の楽しさ」

和泉美佐子

冬から季節が移り、暖かな春の陽射しが優しく降り注いで来ました。皆様は健康で過ごしてでしょうか。私は、趣味で家庭菜園で色々な野菜を育てています。いま冬野菜が終わり、これから春、夏に向けての準備に取り掛かっています。石灰、鶏ふん、牛ふん、それぞれ植え付ける野菜に沿って肥料を入れ、土を整えます。3月に入るとじゃが芋や、葉野菜等を植え付けて行きます。最も成長が早いのは野菜よりも雑草です～。食べられるものや薬にもなる雑草もありますが、しかし野菜達のために抜いてしまいます。こうして成長して収穫し、教会の皆様へ届けて、喜んで頂けるのが私の喜びとなっています。

いま現在は何でも買え、ネットであらゆる情報が簡単に手にする事が出来る時代になり、危険な落とし穴にはまる可能性もあり、何も知らないと大変な事になります。野菜をこの目で確かめながら必要なものを与えなければ育たない事が良く分かります。アァ聖書に書かれている事と同じだなと思います。日用の糧をお与えになる恵みに主の御言葉へ感謝する祈りは大事ですね。



教会及び連合のスケジュール(予定)

- 11月10日(月) 東京地区牧師会&地区連合委員会
- 11月23日(日) 大掃除
- 11月30日(日)～12月24日(水) アドベント(待降節)
- 12月21日(日) クリスマス礼拝&祝会
- 12月24日(水) クリスマスイブ(燭火)礼拝
- 01月01日(木) 新年礼拝
- 01月11日(日) 新年合同礼拝及び成人式
- 02月18日(水)～4月4日(水) レント(四旬節)
- 02月19日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
- 02月24日(火)～26日(木) 教職セミナー(於:小田原市・天成園)
- 04月05日(日) イースター(復活祭)
- 04月29日(水) 連合スプリングセミナー
- 09月20日(日) 創立30周年記念礼拝

祈って下さい

- 1) 上福岡教会の渋谷昌史師は、抗がん剤治療から在宅による緩和ケアに切り替えられました
- 2) 三郷教会の大澤美保夫人の、抗がん剤治療が副作用なく用いられ、健康が回復できますように
- 3) ロシア軍に侵攻されているウクライナに、平和が回復するように
- 4) イスラエルとパレスチナのハマスの間での停戦・平和が実現できますように
- 5) 横田めぐみさんはじめ拉致被害者の方々が、早く家族のもとに帰れるように
- 6) 求道者が救われるように、特に奥田順一兄、池田英穂兄が受洗できるように
- 7) 洗礼を受けられた「八木明子」姉の信仰の成長のために
- 8) 成田のグループ・ホームにいる安藤真大兄の歩行機能が、リハビリでできますように

3分間講座

「ドルカス(タビタ)のよみがえり」

ヨッパの街に、仲間うちからドルカス(カモシカのこと。本名は(タビタ)と呼ばれる女性が住んでいました。彼女はクリスチャンで、教会でいつも貧しい境遇の人たちに気を配り、器用に衣類を作って与えるなど、何かと親切に接していました。そんな慎ましく暖かな暮らしぶりでした。ところがあるとき、重い病気でドルカスが亡くなってしまったのです。ペトロが、リダの街で長いあいだ中風で寝たきりのアイネアを癒したことを知っていた街の人々は、ドルカスのよみがえりを願い、急いでペトロのところに迎えの使いを出しました。ペトロは快くその願いを聞き入れヨッパにやってきます。日ごろ施しを受けていた人々は、言い尽くせない悲しみを共に向き合おうとペトロを囲み、ドルカスが与えてくれた衣類を見せたりします(使徒の働き9:36-39)。

ドルカスの遺体は清められて2階の部屋に静かに置かれました。ペトロは人払いをして部屋に入り、ひざまづいて神に祈ります。そして遺体に向かい「ドルカス起きなさい」と声をかけると、彼女は目を開きペトロをじっと見つめて体を起こしたのです。ペトロは人々を呼び入れ、立ち上がった彼女の姿を見せます。この出来事はまたたく間に町中に伝わり、多くの人たちが神を信じました。

マルコの福音書5章25-42節には主イエスが血の病の女を癒したり、会堂の管理人ヤイロの、12歳で亡くなったひとり娘を「タリタ、クミ」と言ってよみがえらせたという奇跡が記されていますが、その場には弟子のペトロとヨハネ、ヤコブと云っての三人の弟子が居合せ、主の御業を見ています。ペトロは主イエスと同じ奇跡を起こしたのです。実はこのドルカスのよみがえりにも主イエスの力が働いています。主は弟子たちに、悪霊に勝ち病を癒す力を授けていたのです。ドルカスの善行は決して際立ったものではなく、自分にできる範囲の地味でごく小さなものでした。それでも主の目には好ましく、尊く映っていた証しです。(池田)



「タビタを起す使徒ペトロ」ファブリツィオ・サンタフェテ作 1611年

編集後記: 立春(2月4日)を過ぎて、日差しは日々温かくなってきましたが、吹く風はまだ冷たく油断はできません。そして多くの人々の大敵、スギ花粉が飛散し始めました。今年は例年よりも多いとの事。記録的な少雨で空気が乾燥しています。花粉症の人にとってはつらい季節です。病院で検査を受け、適切な薬を飲み目薬をさすことにより、症状はかなり改善されます。我慢していると、鼻や喉の粘膜のバリアー機能が低下して、コロナやインフルエンザに感染しやすくなります。ぜひ適切な治療を受けて下さい。(下橋)